

第32回 青梅市公共交通協議会

高齢者を対象としたMMIについて

令和元年12月11日

青梅市の交通のあり方を考える調査

—ご協力のお願—

この調査は、早稲田大学 創造理工学部 社会環境工学科 都市計画研究室が行うアンケート調査です。アンケートには個人を特定できる情報は記載しませんので、個人のプライバシーは守られます。また、内容についても統計的な処理を施してのみ公表され、プライバシーに関する情報は一切公表されません。

<調査の背景と目的>

本研究室では、交通・歩行環境と交通行動の関係性について研究を行っています。近年高齢者の交通事故の増加などを背景に、運転免許返納制度が交通政策において重要な課題になっています。運転免許返納政策は、運転免許を返納してもらうことで交通事故の不安を軽減することでより安心して生活してもらうための制度です。しかしながら、公共交通の利便性が低く、生活に必要な施設も離れている地域では、自動車に依存せざるを得ない状況となっています。また、道路が狭く歩道がないなど、歩いて生活するのに適さない環境の地域も存在します。そこで本調査では、青梅市民の公共交通利用の実態、自宅周辺の歩行環境を明らかにし、これらが運転免許返納意識にどのような影響を及ぼしているのかを明らかにすることを目的としています。

そして、住民が自動車に頼らずとも快適な生活を送れるよう、地域交通環境改善に向けた情報提供を行いたいと考えています。そのため本調査の統計的な処理を施した結果については青梅市公共交通協議会に提供し、青梅市の公共交通政策に活用していただく予定です。

<調査内容>

調査内容は、ご自身に関する内容と交通に関する内容の2種類となっています。

計19問、5分程度のアンケートです。各問いに選択肢が用意されておりますが、より詳しい現状を把握するため、空欄部には可能な限りご自身の状況をお書きいただければと思います。公共交通の利便性、自宅付近の歩行環境に対してご意見等ございましたら、最後の空欄部にお書きください。

皆様には大変お手数をおかけいたしますが、ご協力よろしくお願いたします。

【問合せ先】

調査担当：早稲田大学創造理工学部社会環境工学科 片山里紗
(連絡先 lisa101may@ruri.waseda.jp)

担当教授：佐々木邦明 教授



※対象者やアンケート実施方法については現在調整中

【アンケート調査票】

1. あなた自身についてお伺いします。

Q1. あなたの性別を教えてください。

1. 男性 2. 女性

Q2. あなたの年齢を教えてください。

1. 65～69歳 2. 70～74歳 3. 75～79歳
4. 80～84歳 5. 85～89歳 6. 90歳以上

Q3. あなたの住所を教えてください。(個人を特定できないよう、〇〇丁目まで)

青梅市 _____ 丁目

Q4. 同居している家族の構成は以下のどれに当てはまりますか。

1. ひとり暮らし 2. 夫婦のみ 3. 二世帯同居（親と子供）
4. 三世帯同居（親と子供と孫） 5. その他（ ）

Q5. 自動車運転免許を所持していますか。

1. 所持している 2. 所持していたが既に返納をした
3. もともと所持していない

2. あなたの現在の状況についてお伺いします。

Q6. あなたの現在の健康状態を教えてください。

1. 健康である 2. どちらかという健康である
3. あまり健康ではない 4. 健康ではない

Q7. 自宅周辺をどのくらいの頻度で歩きますか。

- | | | |
|---------|-----------|-------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に3～4日 | 3. 週に1～2日 |
| 4. 月に数回 | 5. 月に1日未満 | 6. ほとんど歩かない |

Q8. それぞれの外出頻度、主に用いている移動手段を教えてください。

(例：自身の運転、電車、バス、タクシー、徒歩、(電動)自転車、家族や友人による送迎など)

- | | |
|----------------------|-------------------------------|
| ① 買い物
(コンビニなども含む) | 週に()回、月に()回
用いている移動手段() |
| ② 通院 | 週に()回、月に()回
用いている移動手段() |
| ③ 役所や郵便局 | 週に()回、月に()回
用いている移動手段() |
| ④ 仕事(畑仕事も含む) | 週に()回、月に()回
用いている移動手段() |
| ⑤ 運動 | 週に()回、月に()回
よく行う運動の内容() |

同様に、趣味や習い事、親戚や知人の訪問などの定期的な外出があればカッコ内にご記入のうえご回答ください。

- | | |
|-------|-------------------------------|
| ⑥ () | 週に()回、月に()回
用いている移動手段() |
| ⑦ () | 週に()回、月に()回
用いている移動手段() |
| ⑧ () | 週に()回、月に()回
用いている移動手段() |

Q9. 以下の項目から、ご自宅付近の歩行環境について感じることに、当てはまるものを選択してください。(複数回答可)

- | | | |
|--------------|-----------|--------------|
| 1. 歩道がない・狭い | 2. 交通量が多い | 3. 車のスピードが速い |
| 4. 夜間街灯がなく暗い | 5. 坂道がきつい | 6. 駅まで遠い |
| 7. バス停まで遠い | 8. その他() | |

Q10. お住まいの地域の交通環境についてどう感じていますか。

- | | |
|------------|-----------|
| 1. 大変満足 | 2. まあまあ満足 |
| 3. 多少不満がある | 4. 大変不満 |

Q11. 今の生活全般の満足度を教えてください。

- | | |
|------------|-----------|
| 1. 大変満足 | 2. まあまあ満足 |
| 3. 多少不満がある | 4. 大変不満 |

Q12. 現在の貯金額はいくらですか。

- | | | |
|-------------|------------|------------|
| 1. 1500万円以上 | 2. 500万円以上 | 3. 100万円以上 |
| 4. 100万円未満 | 5. 貯金なし | 6. 回答しない |

Q13. もし年金がなくなった場合、生活にどのくらい支障が生じますか。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. かなりの支障が生じる | 2. まあまあ支障が生じる |
| 3. あまり支障は生じない | 4. 全く支障は生じない |

クルマと公共交通の「かしこい」使い方を考えよう

クルマはとても便利ですよ

でも、事故を起こさないという保証はどこにもありません

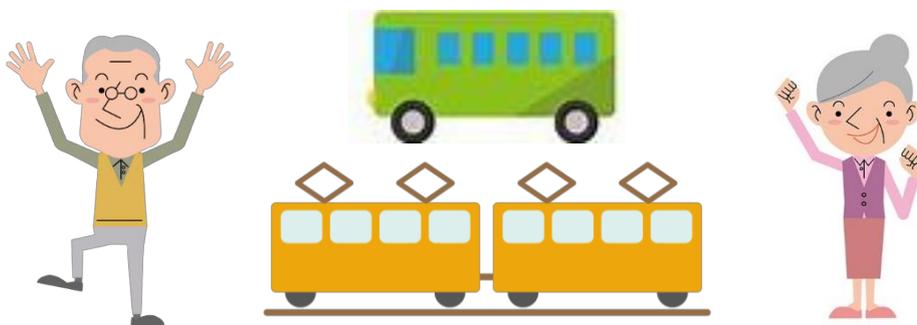
カラダが健康だとしても、運転が上手だとしても

知らず知らずのうちに、視野は狭まり、注意力も低下していきます・・・

80歳、90歳、そして100歳になっても

元気におでかけして楽しく暮らしていくために、

いまから安心・安全な電車・バスでの移動を取り入れてみませんか？



Q17. 電車やバスを利用する際の不安・懸念事項を教えてください。

- | | |
|---------------|---------------------|
| 1. 路線図の読み方 | 2. 料金の払い方 |
| 3. 運行本数の少なさ | 4. 時刻表通りに運行しているかどうか |
| 5. 駅やバス停までの移動 | 6. 荷物を持たなければいけないこと |
| 7. その他 () | |

Q18. 電車やバスを利用するとしたら、どのようにしようと思いますか。

- | | |
|--------------------------|------------------|
| 1. 天気の良い日に試してみる | 2. 荷物の少ない日に試してみる |
| 3. 駅やバス停付近の目的地に行く際に試してみる | |
| 4. 友人・家族と一緒に試してみる | 5. 既に利用している |
| 6. あまり試したいと思わない | |
| 7. その他 (|) |

Q19. 上記の設問を通して、電車やバスをもっと利用していきたいと思いましたが。

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. とてもそう思った | 2. ややそう思った |
| 3. あまりそう思わなかった | 4. 全くそう思わなかった |

この調査や地域公共交通の利便性、自宅付近の歩行環境に対してのご意見、また、利用してみたい移動手段等ございましたらご自由にお書きください。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。